

平成 26 年 7 月 10 日
公益財団法人がん研究会
東レ株式会社

乳がん患者向けケアウェアの共同開発

公益財団法人がん研究会（所在地：東京都江東区、理事長：草刈 隆郎、以下「がん研」）と東レ株式会社（本社所在地：東京都中央区、社長：日覺昭廣、以下「東レ」）は、がん医療現場における衣料ニーズの発掘を共同で行い、乳がん患者様が治療中にも快適に着用できる新しいインナータイプのケアウェアの開発に着手しました。今後はがん研有明病院において、患者様に試着していただき、より良い製品をご提供する計画で、2015 年の上市を目指して取り組みを進めてまいります。

また本製品の概要は来る 7 月 12 日の日本乳癌学会（大阪）でも発表いたします。

日本人女性の乳がん罹患率は年々増加傾向にあり、1 年間で 5 万人が新たに乳がんと診断されています。これに対する治療として外科療法、薬物療法のほか、放射線療法が行われます。放射線療法は有効な術後局所療法ですが、放射線皮膚炎の発症が認められることがあります。この皮膚炎の治療には、炎症部分に軟膏を塗布し、患部を保護するガーゼを貼るのが一般的です。がん研有明病院では、保護に医療材（リント布など）を用いて、弾性包帯を加工した独自の保護ベストで保護する方法を検討してきました。一般素材の保護ベストは、伸縮性に乏しいため皮膚への刺激が強く、また軟膏や患部からの浸出液が衣服を汚してしまうなど、治療中の患者様が日常生活を送る上での負担を生じていました。皮膚障害をケアしつつ、快適に過ごせる患者用衣料があれば、患者様の「生活の質（QOL：quality of life）」を改善することが期待できます。

がん研と東レはこうした医療現場のニーズに応える形で、東レが長年培ってきた先端素材開発技術を活かして、照射後皮膚炎の患部を保護しつつ、着心地やファッション性に配慮した乳がん患者向けケアウェアを共同で企画・開発いたしました。体に柔らかくフィットするニット素材を用い、患部保護材をずれにくくするホールド性と、肌への刺激を抑えた縫製仕様によって、快適に着用でき、容易に着脱することが可能です。さらに特殊な防汚加工を施し軟膏や患部からの浸出液を吸収保持し裏面に染み出しにくくすることで、浸出による外衣への汚れを防止します。また家庭での洗濯でウェアに付着した軟膏などを簡単に洗い落とせるイージーケア性を備えています。このような防汚性、伸縮性等の機能と、装用性、ファッション性を向上させた患者様用のケアウェアとして、広く世界に普及できるものと期待しています。

がん研と東レは、これを始めとして、患者様に少しでも快適な医療環境を提供するための患者様サポートという新しい視点から、がん治療の周辺領域に役立つ製品の開発を進めて参ります。

乳がん患者向けケアウェアの概要は以下のとおりです。

記

1. 商品名 乳がん患者向けケアウェア

2. 商品特長

- (1) 柔らかな風合いと乳房切除後にもバランス良く着用できるストレッチ性
- (2) 患部保護材（リント布）のズレを抑えるホールド性
- (3) 肌刺激を極力抑えた縫製仕様
- (4) ファッション性
- (5) 軟膏やワセリン等の薬剤による、外衣への汚れ防止性

3. 技術内容

- (1) 極細ナイロンとポリウレタン弾性糸の特殊複合糸を使用することで、柔らかな風合いとストレッチ性を付与しました。
- (2) 上記特殊複合糸の特徴を生かす高次加工設計により、締め付け過ぎず適度なホールド感を付与し、リント布等のズレ防止性を付与しました。
- (3) 肌側の突起を減らした縫製仕様にするすることで、肌への刺激を抑制しました。
- (4) 生地特殊防汚加工を施すことで、薬剤の染み出しを抑制し、外衣への薬剤での汚れ防止効果を付与しました。
- (5) 上記防汚性を定量的に評価することで、テキスタイル設計、加工条件を最適化しました。

4. 特許出願 関連特許含め2件 出願済み

5. 展開用途

乳がん患者向けウェア（ブラジャー、カーディガン等）

その他のがん患者様向けにも展開検討中。

※本品は医療機器ではありません。

【試作品例】



【学会発表予定】

【発表日】 2014年7月12日（土）11：20-12：20（日本乳癌学会ポスター発表）

【会合名】 第22回 日本乳癌学会学術総会

【場 所】 大阪国際会議場 （所在地：大阪府大阪市北区中之島5-3-51）

【演題名】 演題番号 GP-3-136-01：乳がん放射線治療患者のための高機能でファッション性のある革新的患者ケアウェアの開発

【発表者】 小口正彦、後藤志保、内海潤（がん研究会）

【発表機関の概要】

がん研究会の概要

- （1）団体名 公益財団法人がん研究会
- （2）設立 1908年4月
- （3）代表者 理事長 草刈 隆郎
- （4）設置目的 体系的がん研究と先進的がん医療の推進を通じて、革新的ながん医療や予防法の開発を行うとともに、人材育成、国際交流、調査研究等の事業によりその普及を図り、がんの克服をもって人類の福祉向上に貢献する。
- （5）主な組織 がん研究会有明病院、がん研究所、がん化学療法センター、ゲノムセンター

東レの概要

- （1）社名 東レ株式会社
- （2）設立 1926年1月
- （3）代表者 代表取締役社長 日覺 昭廣
- （4）資本金 1,478億7,303万771円
- （5）事業内容 繊維、プラスチック・ケミカル、情報通信材料・機器、炭素繊維複合材料、環境・エンジニアリング、ライフサイエンス・その他の各製品の製造・販売

以 上

【お問い合わせ先】

<製品について>

公益財団法人がん研究会 放射線治療部 小口 TEL：03-3520-0111

東レ株式会社 機能製品事業部 東京ユニフォーム課 TEL：03-3245-5393

<プレスリリースについて>

公益財団法人がん研究会 広報部 本山、大関 TEL：03-3570-0397 FAX：03-3520-0141

東レ株式会社 広報室 広報課 松村、原口 TEL：03-3245-5179 FAX：03-3245-5459